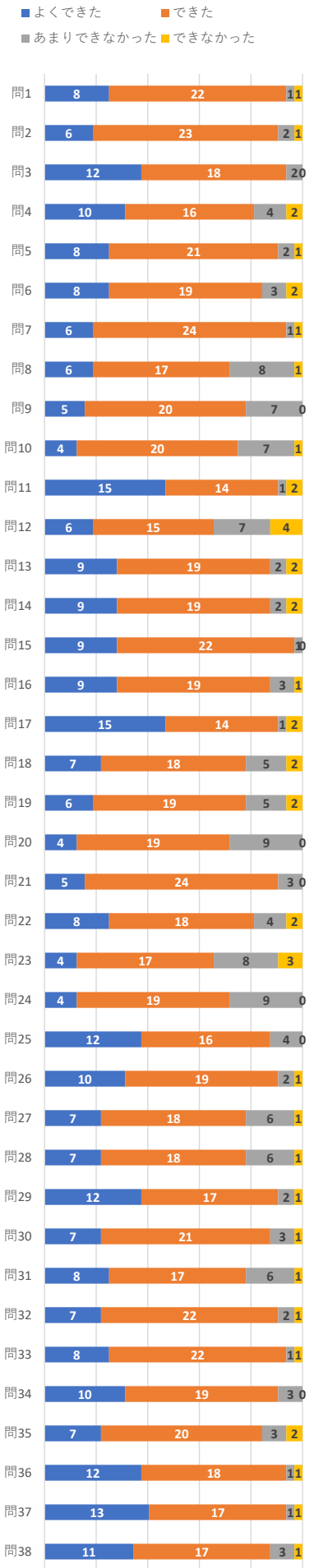


令和7年度 学校自己評価（職員）

令和7年12月実施 回収32名

評価：④よくできた、③できた、②あまりできなかった、①できなかった

	評価の基準	R7					R6				
		④	③	②	①	④+③	④	③	②	①	④+③
問1	HPの更新、学校案内文書等の情報発信が適切に行われているか。また、姫北文庫が発行され、生活記録が集約されているか。	8	22	1	1	93.8%	18	17	2	0	94.6%
問2	保護者・学校評議員・地域住民等の行事参加はあったか。	6	23	2	1	90.6%	9	22	5	1	83.8%
問3	あらゆる機会をとらえ、警察、医療機関、福祉関係機関、関係学校等と連携しながら問題の解決や改善を図っているか。	12	18	2	0	93.8%	14	19	3	1	89.2%
問4	定例の年次会・職員会議や情報交換会など、情報の共有の機会を適切に設定できたか。	10	16	4	2	81.3%	14	18	3	1	86.5%
問5	登校前や授業時の校門立ち番等、日々の各種当番は適切に行われたか。	8	21	2	1	90.6%	18	14	3	2	86.5%
問6	生徒指導部と年間や特別支援教育推進委員会等との連携を適切に図れたか。	8	19	3	2	84.4%	5	25	7	0	81.1%
問7	生徒中心に日々の活動が積極的に行われ、生徒は意欲的に取り組むことができたか。	6	24	1	1	93.8%	12	17	8	0	78.4%
問8	年間計画や方針・課題等の周知をはかる上で、当該学年との連携はスムーズに実施できたか。進路情報は適切に共有されたか。	6	17	8	1	71.9%	7	17	12	0	64.9%
問9	就職希望者の企業訪問は適切に実施されたか。補習・面談指導等は組織的・計画的に実施されたか。生徒・保護者への進路情報の提供は適切であったか。	5	20	7	0	78.1%	7	25	4	0	86.5%
問10	各年次において進路ガイダンスは適切に実施されたか。進路HRの実施回数は適当だったか。	4	20	7	1	75.0%	8	22	5	1	81.1%
問11	校内研修・研究授業・公開授業は適切に実施されたか。校外（研修所・他校・研究機関等）での研修機会があったか。研修内容をまとめて発表したり、聞いたりする機会があったか。	15	14	1	2	90.6%	18	17	3	0	94.6%
問12	校務について効率化を図ったか。普段から定時退勤を意識し、取り組めたか。	6	15	7	4	65.6%	12	20	3	3	86.5%
問13	危機対応体制に関する研修は適切に実施されたか。災害避難訓練は適切に実施されたか。不審者対応マニュアルは適正に整備され、活用されているか。	9	19	2	2	87.5%	7	24	5	1	83.8%
問14	年次の目標・年間計画等の実施が適切にされたか。	9	19	2	2	87.5%	10	22	3	2	86.5%
問15	美化管理場所について責任を持って管理できているか。ゴミの分別の推進が図られているか。	9	22	1	0	96.9%	12	18	6	1	81.1%
問16	面談期間を利用し、各クラスで保護者の全員と面談を行えたか。	9	19	3	1	87.5%	14	18	3	1	86.5%
問17	消化器、AED設置箇所の把握と管理は適切になされているか。	15	14	1	2	90.6%	16	15	6	0	83.8%
問18	評価規程は教科内の意思統一を経て適切に設定されているか。評価が適当か否か教科内で十分検証されているか。	7	18	5	2	78.1%	11	19	4	2	81.1%
問19	各教科会議での授業打合せは適切に実施されたか。	6	19	5	2	78.1%	11	20	3	2	83.8%
問20	体験的な学習や問題解決的な学習が適切に実施されたか。また、ボランティア活動を奨励できているか。	4	19	9	0	71.9%	7	20	6	3	73.0%
問21	生徒が興味関心を持つ科目が履修できる教育課程になっているか。	5	24	3	0	90.6%	9	20	4	3	78.4%
問22	習熟度別授業によって、生徒の興味・関心や基礎学力が向上したか。	8	18	4	2	81.3%	11	20	4	1	83.8%
問23	委員会による検証作業は適切に実施されたか。	4	17	8	3	65.6%	7	20	6	3	73.0%
問24	各講座の目標は達成できているか。	4	19	9	0	71.9%	5	22	8	1	73.0%
問25	全生徒が体験作文を書くことで自らを振り返る機会となったか。言語活動を高めるための指導が適切になされたか。生徒の聴く姿勢は適切であったか。	12	16	4	0	87.5%	14	18	3	2	86.5%
問26	教育相談は適切に実施され、十分活用されたか。キャンパスカウンセラーとの調整はスムーズに行えたか。キャンパスカウンセラーと連携し、生徒理解や生徒に寄り添う指導がなされたか。	10	19	2	1	90.6%	14	18	4	1	86.5%
問27	給食便り等の食育啓蒙活動は適切に実施されたか。生徒アンケートは定期的に実施され、集約分析されたか。	7	18	6	1	78.1%	10	23	3	2	89.2%
問28	学校防災管理計画は適正に整備され、活用されているか。	7	18	6	1	78.1%	11	21	5	0	86.5%
問29	教員対象の救急救命講習は適切に実施されたか。生徒対象の救急救命講習は適切に実施されたか。	12	17	2	1	90.6%	13	19	5	0	86.5%
問30	いじめの防止に向けた取り組みや啓発活動が実行できたか。	7	21	3	1	87.5%	10	24	1	2	91.9%
問31	HRにおける指導計画は適切に作成・実施されたか。人権教育の計画・事前研修・運営等は適切だったか。	8	17	6	1	78.1%	9	24	3	0	89.2%
問32	命の大切さを考える場（各種講演会）を与えることができたか。また、自己有用感を学校行事や部活動を通して育むことができたか。	7	22	2	1	90.6%	11	20	5	0	83.8%
問33	個人情報の保護規定に従って個人情報の取り扱いができたか。	8	22	1	1	93.8%	13	21	1	1	91.9%
問34	授業内での情報モラルをふまえた情報機器（携帯電話・スマートフォン等）の利用方法について指導ができたか。	10	19	3	0	90.6%	9	24	1	2	89.2%
問35	日本語指導が必要な生徒たちへの配慮がなされているか。多文化共生サポーターの配置と連携は適切になされているか。小中学生への就学支援ガイダンス（毎年、支援を受けている生徒が参加している）での発表が行われたか。	7	20	3	2	84.4%	9	22	5	0	83.8%
問36	中学校訪問は適切に実施されたか。オープンハイスクールは適切に実施されたか。	12	18	1	1	93.8%	19	15	3	0	91.9%
問37	キャンパスカウンセラーからのアドバイス（守秘事項を除く）が共有できたか。	13	17	1	1	93.8%	19	14	2	1	89.2%
問38	特別支援教育推進委員会と年次団や生徒指導部、また、外部機関との連携は適切に図れたか。	11	17	3	1	87.5%	14	19	2	2	89.2%



《分析および次年度に向けての課題と対策》

○分析

38項目のうち21項目で「よくできた」「できた」が昨年度を上回った。

なかでも、問15「施設管理」、問7「生徒の意欲的な活動」、問21「教育課程」は10%以上評価が向上した。

一方で、問12「校務の効率化」、問27「食育に関する指導体制」、問31「人権教育」が昨年度より10%以上評価が下がった。

○次年度に向けての課題と対策

「校務の効率化」について、一人が仕事を抱え込まないように複数で対応する、ICTを用いて業務の進捗状況を可視化するなどして校務を効率化することにより、生徒と向き合う時間を増加したい。

「食育に関する指導体制」について、毎月の給食献立表を少しでも早く配布し、給食についてのアンケートを定期的実施することで食育啓蒙活動を進めていきたい。

「人権教育」について、例年通りのホームルーム計画にはせず、もう一度人権教育を意識したホームルーム計画を立案したい。

学校評価で得た結果を次年度に生かし、職員が働きやすい職場をつくること、生徒にとって学びやすい学校につなげていきたい。